

平成22年度第2回金沢市廃棄物総合対策審議会

会 議 録

日時：平成23年2月24日（木）
午前10時00分～11時30分

会場：金沢市役所4階 会議室「兼六」

所管：金沢市環境局環境政策課

本件は、平成22年度第2回金沢市廃棄物総合対策審議会の会議録であることを
了解します。

平成23年3月28日

金沢市廃棄物総合対策審議会

会長 小森 友明

平成 22 年度第 2 回金沢市廃棄物総合対策審議会 議事録

■日 時 平成 23 年 2 月 24 日（木） 10:00～11:30

■場 所 金沢市役所 4 階 会議室「兼六」

■出席者 別紙のとおり

■内 容 以下のとおり

1 開 会

（坂井局長） 本日はお忙しい中ご出席いただきお礼申し上げます。また、日頃から本市の環境行政にご尽力、ご指導賜り、重ねてお礼を申し上げます。

本市では 3 R の推進による循環型社会の構築を基本方針とし、ごみの排出抑制、資源化、施設整備を進めているところである。

21 年の 6 月から実施したレジ袋の有料化では、マイバッグの持参率は 90% を超えており、活動が市民に定着したと感じている。また、22 年度のごみ排出量の予測値は、前年度比で 1.7% 減少しているが、資源化率は前年度とほぼ同等で横ばいの傾向にある。ただ、家庭から回収の紙ごみについては、資源化率が従来の 9000 トンから 7000 トン台に減少しているため、来年度以降に向け、「紙ごみ・小型家電」の資源化促進を踏まえて新規モデル事業を立ち上げ、資源化率の向上を目指したい。

本日は、事業系ごみの資源化のための収集運搬にかかる新たな許可制度についての審議案件、その他 2 件の報告案件がある。限られた時間ではあるが、ご審議いただくようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

（事務局） ・欠席委員の報告

- ・出席委員数 13 名であり、過半数に達していることから、「金沢市廃棄物の減量化及び適正処理に関する規則」第 3 条第 2 項の規定に基づき、本会議が成立していることを報告

（会長） お忙しい中、お集まりいただきお礼申し上げます。今日の案件は、再資源化に伴う収集の許可に関するものが一つ。この案件は、昨年末に実施したパブリックコメントの結果に基づいていることを踏まえてご審議をお願いしたい。

その他、報告事項が 2 件あり、事務局の説明に従ってご審議をお願いしたい。

2 議 事

(1) 金沢市再資源化品を取り扱う一般廃棄物収集運搬業の許可に関する基準の制定について

-----資料1 「金沢市再資源化品を取り扱う一般廃棄物収集運搬業の許可に関する基準の制定について」 事務局説明-----

- (事務局) 資料1の第3項の(2)に記載されている、「再資源化品に相当する品目を含む産業廃棄物収集運搬業の許可を受けていること」、という項目を削り、産業廃棄物の収集運搬業の許可を持っている業者に許可を与えることとし、一部手直しをさせていただきたい。
- (会長) パブリックコメントを実施したが、意見が全く無しということである。参入の範疇については、結果から言えば誰でも参加できるということか。
- (事務局) 現行規定に言う5年間の産業廃棄物収集運搬の許可を持っている者ならば可能である。
- (会長) 混載はしないよう指導をして頂かなければならない。その要件を満たすと言うことで、訂正されたところをご承認願いたい。
- (委員) 食品残渣には動植物があるということだが、運搬先では堆肥になっているのか。
- (事務局) ほとんどが肥料化の方向だろうが、全ての残廃が肥料化される訳ではない。塩分を含む物は難しい。現状では、素材か食材残渣の堆肥化が進んでおり、調理された物については、実績が少ないのが実情のようである。
- (委員) レストランでは、お持ち帰りは駄目です、と言われる。
- (会長) 食中毒が怖くて持って帰られると困る、ということではないか。今、食べ残しの量が非常に多い。そのような意味では、流れとしては持って帰ってください、とした方が正しいのかもしれない。
- (会長) 議案に関して意見が無いようであれば、ご承認願いたい。

(2) 金沢市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の改正について

-----資料2 「金沢市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の改正について」 事務局説明-----

- (会長) 許可の更新は5年に一回か。
- (事務局) 熱回収施設の許可更新が5年に一回である。また、定期検査も5年ごとに検査を実施することになる。
- (委員) 金沢市内には何カ所くらいあるのか。
- (事務局) 定期検査については最終処分場、埋立施設と焼却施設に限られており、

現在のところ稼働しているのは9施設である。

(会 長) そのうち熱回収をしているところは何カ所あるのか。

(事務局) 基準に合致するか否かがわからないので、現時点においては0である。1施設に可能性があるが、認められるか否かについては、基準に照らし合わせて審査した結果による。

(会 長) 施設の検査は市の職員が行うのか。

(事務局) 市の職員が行う。検査についてはこれまでも年に数回実施している。

(会 長) 法人の機密情報に留意して実施していただきたい。検査マニュアルなどを一括して議会に上程するのか。

(事務局) 議案としては、申請手数料の新設に関することだけである。

(会 長) この件に関しては、施設の安全対策を前提とするものであり、ご同意をお願いしたい。

(3) 一般廃棄物処理計画に係る平成23年度実施計画について

--資料3「一般廃棄物処理計画に係る平成23年度実施計画について」事務局説明--

(会 長) 計画ではごみが少し減るということである。今の説明に何か意見があったら伺いたい。

(委 員) 監視カメラによる不法投棄の抑制と行為者の特定については、1件でも見つかったのか。

(事務局) 行為者が見つかった事例は1件も無い。

金沢市の不法投棄の実態であるが、緊急雇用対策の一環として監視員を10名採用し、5月から12月にかけて監視パトロールを実施している。その結果として見つかるものが多く、例えば21年度は1900件、80トン近くあった。22年度も引き続きパトロールを実施した結果、件数は同じくらいだが、重量は50トン程度である。このパトロールは来年度も継続する予定である。

(委 員) 無料回収と称してクルマで回っている者には許可があるのか。

(事務局) 許可があるわけではない。「無料と言うのに代価を求められた」と言うことも耳にする。その場合は明らかに違法行為であり、すぐに市役所(環境指導課)や警察に通報していただきたい。

(会 長) 今年は地デジに変わるので不法投棄が多いと思われる。

(事務局) 今年はどの自治体でもテレビの不法投棄に神経を集中させている。

(会 長) 資源化の関連では、溶融を止める自治体が多くなると思われる。国が定めている資源化率の計算式について、溶融が無いときの式を作った方が良くはないかと思う。

(環境局長) 本市のごみ処理基本計画では焼却灰の資源化も盛り込んでいる。何か良い方法が無いかということで内部で検討しているところである。

(会 長) し尿について、1700世帯というのは遠隔地などで下水管渠を引くこと

が困難な所か。

(環境局長) 下水道計画区域内であっても下水道へ接続できない方がいる。企業局とも連携して切替を促進していきたい。

(事務局) 下水道法では供用開始になった場合、遅滞なく接続することとされている。ただし、浄化槽からの切り替えについては罰則が無い。現在、汲み取りであるものに限って、「3年以内の接続」に義務と罰則がある。

(会長) その他、ご意見が無いようであれば、この報告をご承認願いたい。
議題はこれで終わりだが、その他、皆さんから議題、トピックスなどがあれば頂戴したい。

(事務局) 現在、建設中の西部クリーンセンター新工場（高効率発電施設）が平成24年4月稼働となることから、これまで燃やさないごみとしてリサイクルが難しい「汚れた廃プラスチック」「汚れを落とせない容器包装プラスチック」など、従来は埋立処分をしていたものを燃やすごみに区分を変えて収集し、熱回収の方向としたい。

また、小型家電等についても燃やさないごみとして破碎（金属を取り除き資源化）し埋立処分していたが、民間処分場での技術革新と実用化に伴い、特に貴重なレアメタルを取り出すことが出来るようになったことから、こうした小型家電等の資源化を図るため、一部収集方法の変更も検討している。変更内容等については、策定次第、以降の審議会に逐次報告したい。

(会長) 廃プラは、既に埋立場に埋めたものも掘り起こすのか。

(環境局長) そこまでは今は考えていない。

3 閉 会

(会長) その他、ご意見が無ければこれで終了したいと思う。それでは事務局の方にお返しする。

(事務局) 本日、委員の皆様には長時間にわたり熱心にご審議を頂き、感謝申し上げます。なお、資料については議会上程前であり、事務局へお返しいただきたい。以上をもって、「平成22年度第2回金沢市廃棄物総合対策審議会」を終了する。

(別 紙)

平成22年度第2回金沢市廃棄物総合対策審議会出席者（順不同、敬称略）

会長	小森 友明	(金沢大学名誉教授)
	河内 久美子	(金沢学院短期大学教授)
	山本 千夏	(北陸大学薬学部准教授)
	小川 洋巧	(北陸税理士会公益対策部副部長)
	西明 修一	(金沢市町会連合会副会長)
	高田 千恵子	(金沢市校下婦人会連絡協議会会長)
	本野 笑子	(金沢市老人連合会理事)
	松川 治彦	(石川県スーパーマーケット連絡協議会代表幹事)
	高山 賢悟	(金沢市一般廃棄物事業協同組合理事長)
	元林 秀夫	(金沢農業振興協議会会長)
	清水 憲次	(水野 裕志 石川県環境部長代理)
	出島 正幸	(公募委員)
	南部 雄二	(公募委員)

※欠席者

	西條 清史	(金沢大学医薬保健研究域医学系教授)
	高橋 一光	(金沢商工会議所常務理事)